

令和6年10月27日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第3区)

新潟県選挙管理委員会

身を切る改革、維新だかどろいちゃいます。

日本維新の会

Instagram

負けてたまるか大作戦！

物価高騰に負けてたまるか！ これで解決	所得倍増 減税	年金受取額アップ 社会保障の見直し
少子化や過疎化に負けてたまるか！ これで解決	地方への権限移譲 法人税制改革 子育て支援強化	地方への企業誘致 コンパクトシティ化 教育無償化
犯罪や冤罪に負けてたまるか！ これで解決	拉致問題への取り組み強化 捜査課程の透明化 企業団体献金の禁止	被害者補償制度の拡充 政治資金規正法の改正
政治家の不正に負けてたまるか！ これで解決	政治家の処罰規定の改正 選挙制度改革	選挙制度改革

そもそも政治家になりたいだけの人を選ばない

東京生まれ、全国育ち。青学大卒。プラント系一丁企業・外資系生保会社・飲食店経営を経て、政界進出をめざす。



日本維新の会
よしむら ゆういちろう

政治の本分は、暮らしの向上！

- 国土強靭化をさらに推進し、防災減災、水害や地震に備えます
- 中小企業の価格転嫁をしやすくし賃上げ環境を整えます
- 現役世代の賃上げをさらに促進することで年金の物価スライドを実現します
- 介護や福祉や幼児教育の現場の処遇改善を可能にします
- 経営危機にある県立病院や厚生連病院の機能強化を支援します
- 企業誘致や高速道路・バイパスの整備促進など定住促進につながる施策に取り組みます
- 食料安全保障の観点から、農林水産業や食品関連産業の振興を進めます

プロフィール
生年月日 昭和51(1976)年12月8日(47歳、長男)
村上市(当時神林村)平林生まれ。子どもは3人。
地元小中、中泉高校、大学・大学院を経て国家公務員
内閣府(公正取引委員会)を退職して選挙に立候補。
現在4期。2024年10月 財務副大臣
ふるさとのため日本のため、捨て身で闘います！



政治家の仕事を果たすために

- 政治家の仕事とは、
- 第一に、国民の生命・身体と財産を守ること
● 拉致被害者の即時一括帰国のためトップ会談の実現を強く求めます
● 価値観を共有する国々と連携し、中ロ北朝鮮と対峙します
● 相次ぐ気象変動や地震災害や食糧危機から、ふるさと日本を守ります
 - 第二に、国民の暮らしを豊かにすること
● 物価高、資材高、エネルギー高対策を充実させます
● 経営環境の改善と賃金・年金の上昇を図ります
● 医療、福祉や企業誘致など、居住環境を整えます
 - 第三に、信頼される政治を取り戻すこと
● 自民党を若い力で改革します
● 不透明な政治活動費の廃止を求めます
● 旧文書交通費(調査研究広報滞在費)の使途公開に取り組みます

緊張の度合いが高まる国際環境、物価上昇に追いつかない賃金と年金、気候変動や地震など頻発化する災害、少子高齢化・人口流出や空き家問題、基盤整備やコスト高など農林水産業を取り巻く課題。
暮らしを向上させるには、数多くの問題に取り組みなければなりません。それにも関わらず与党自民党は、政治資金の不記載問題などにより、国民の皆様の信頼を失ったままです。私自身、引き続き党改革の先頭に立ち、信頼される政治を取り戻します！

くらし再生！
政治改革!!



衆議院議員候補・財務副大臣
ひろ あき
ひるあき 洋明
(47歳)

- プロフィール**
- 新発田市在住
家族：妻、長女(12才)、長男(10才)
 - 東京大学法学部中退
在学中、加藤統一衆議院議員秘書
 - 財住宅産業研修財団
 - 株式会社アビリティーズ社
介護の現場で働く
 - 2002年
参議院新潟補選で当選、1期務める
 - 2009年
衆議院選挙初当選、以後3期務める
 - 2021年
衆議院選挙で落選

新発田事務所
〒952-0203 新発田市中央2-4-2-1
TEL 0254-21-0700 FAX 0254-21-0707

村上事務所
〒950-0852 村上市南1-2-5-1-9
TEL 0254-50-1755 FAX 0254-50-1766

阿賀町事務所
〒959-4462 阿賀町新井11-13-33
TEL/FAX 0254-92-2550(奥野)

立憲民主党



黒岩の3大柱

社会保障・教育改革

- 最低保障年金の導入
- 医療・介護職員の大幅処遇改善

● 大学授業料「0」・仕送り「0」
(大学授業料完全無償化……1.7兆円
仕送り相当支度金……0.8兆円)

エネルギー・環境・農業改革

- 柏崎刈羽原発再稼働NO
- 再生可能エネルギーへの大幅な転換
- 農業戸別所得補償制度の復活、土地改良事業の促進

政治改革

- 企業団体献金・政治資金パーティーの禁止
- 政策活動費の廃止

政治を前へ！



歩いて 歩いて
私は、前回選挙で落選して以来3年間、この自然あふれる新潟3区を毎日歩き続け、一人ひとりの声を聞き、受け止めてきました。
私は、企業団体献金(0「ゼロ」)政治資金パーティー(0「ゼロ」)これは2002年に参議院補欠選挙に当選して以来の変わらぬ姿勢です。
カネのちからで動く政治ではなく、有権者一人ひとりの声で動く政治をつくりたい。
今回の解散をめぐる自民党の混乱・動揺の中身は極めて後ろ向きな議論でしかなく、市民の生活はおきざりです。
いまこそ、日本の政治を前にすすめるために、私を再び国会に送り出してください。



黒岩
たかひろ

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)